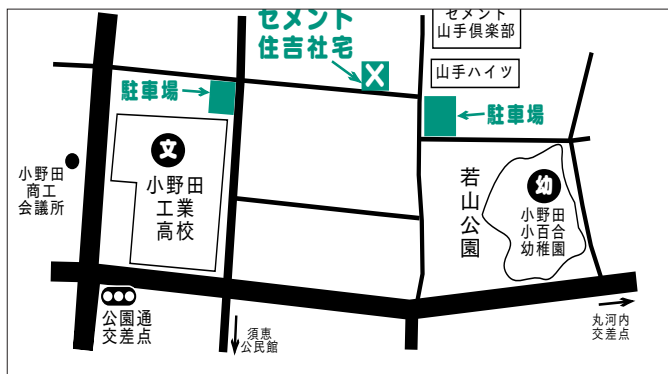


# セメント住吉社宅

## オープン記念「住吉まつり」を開催します



- **と き** 5月31日(土) 9:30～17:00
- **と ころ** セメント住吉社宅 (龍遊館)
- **内 容**
  - 山陽小野田絵画10人展 ● 史跡巡りツアー
  - タンポポの会の展示会 ● 喫茶コーナー
  - フリーマーケット (事前に下記まで申し込んでください)
- **フリーマーケット申込・問い合わせ先**  
セメント住吉社宅活用保存会  
(☎ 83-3360 須恵公民館 瀬口)



### セメント住吉社宅「龍遊館」 の開館にあたって

セメント住吉社宅  
活用保存会 会長 瀬口 孝典

今年1月に、市から「セメント住吉社宅」の保存・活用をする団体選ばれ、外観は「大正ロマン」の味を残しながらも来館される方が気持ちよく集える場所に改修を行ってきました。こうしてオープンの日を迎えるにあたり、尽力いただいた会員はじめ多数のみなさまにあらためて感謝申し上げます。

館の愛称「龍遊館」は、龍王山の「龍」の字と、みなさんが楽しく「遊」び集えることに願いを込めて名付けました。

現在、会員は百名余いますが、もっとたくさんの市民に、この「龍遊館」に関わっていただきたいと願っています。会員は随時募集していますので、お気軽にご連絡ください。

※「住吉まつり」でのフリーマーケットの出店者を1区画500円(3m×3m)で募集しています。ご希望の方は左記までお申し込みください。

## 市長から市民のみなさんへ

71

山陽小野田市長 白井 博文

### セメント住吉社宅が開館します

「小野田」の名を全国に知らしめた小野田セメント。そこで働く重役が暮らしていた旧役員社宅の大正ロマンあふれるたたずまい。市の大切な文化財であり、他のセメント関連施設とともに産業遺産ともいべき施設です。太平洋セメントのご好意で、住吉本町二丁目にある役員社宅を無償でお借りするお話をいただいたのが1年半前のことでした。取り壊される運命にあったはずの「オレンジ瓦」の活用、運営方法について協議を委ねた「まちづくり市民会議」の委員



▲愛称も「龍遊館(りゅうゆうかん)」に決まりました。

の方々を母体に、引き続き「セメント保存会」が発足し、メンバーのみなさんの献身的な活動が実を結び、この度、セメント住吉社宅の開館式が行われることに大きな喜びを感じています。

市からの資金援助は全くない中で、傷んだ建物の補修など、まさにゼロからのスタートだったことでしょう。お世辞にもお若い年齢層の方々が大半を占める保存会のみなさんの姿は、まさに「このまちの未来のために汗を流そう」と謳う、市民憲章の一文を、実際に行動にうつした取組みと私の目にはたいへん頼もしく映りました。

この建物をめぐる一連の動きについて、私は「市民活動の流れを変えるモデルケースになる」と考えています。行政から自立して、まちづくり、まちおこしの一翼を担ってくれるような、第2、第3の「セメント保存会」が生まれることを期待してやみません。

